

「平成21年度教育改革の取組状況調査」の結果の概要（平成22年1月実施）

Ⅰ 学力に関すること

○ 学習目標を達成するための指導や取組

- 全体として、「校内授業研究による授業改善」を進めている学校（79.1%）や、「少人数指導」を実施している学校（72.1%）が多い。
- 校種別にみると、小学校は「校内授業研究」の割合が92.5%、中学校と高等学校は「長期休業中の補充学習」の割合がそれぞれ87.9%と97.6%、特別支援学校は「チーム・ティーチング」の割合が90.9%と高い。

○ 家庭学習の習慣を定着させる取組

- 小学校では90.6%、中学校では75.7%、高等学校では76.2%、特別支援学校では63.6%が実施。
- 全体として、「宿題の出し方を工夫している」学校（93.9%）が多い。それ以外に、小学校、中学校、及び特別支援学校では「発達段階に応じて適切な学習時間を伝えている」割合が、それぞれ50.8%、28.4%、28.6%、中学校と高等学校では「家庭学習の大切さを示した保護者向けのちらし等を作成している」割合がそれぞれ28.4%と37.5%。

Ⅱ 社会性や規範意識に関すること

○ 子どもの社会性にかかわる取組

- 全体として、「あいさつや言葉づかい等の指導」を実施している学校（98.7%）が多い。それ以外に、幼稚園と小学校では「異学年（異年齢）交流」がそれぞれ94.3%と83.6%、中学校と高等学校では「ボランティア活動」がそれぞれ84.1%と85.7%、特別支援学校では「他校・他校種間の交流」が100%。

Ⅲ 体力に関すること

○ 体力テストの位置づけ

- 「体力テストを年間計画等の中に以前から位置づけている」学校、「今年度から位置づける」学校は、小学校で81.2%、中学校で70.1%、高等学校で95.2%。

Ⅳ 地域との関係に関すること

○ 保護者や地域に支援してもらいたい内容

- 全体として、「施設の整備や修理・宮繕（草引き等を含む）」（82.6%）と「登下校の安全指導や見守り活動」（69.8%）を支援してもらいたい学校が多い。それ以外に、幼稚園と小学校では「読み聞かせ」がそれぞれ74.5%と65.7%、中学校では「部活動の補助」が60.7%、高等学校と特別支援学校では「学校行事（体育大会等）の準備や運営の補助」がそれぞれ38.1%と72.7%。

Ⅴ 学校経営に関すること

※複数回答の中で、各校種上位を占めた割合

○貴校(園)の教育課題は何ですか			○昨年度に比べて成果の上がっていることはどんなことですか		
幼稚園	子どもの規範意識や社会性	65.0%	園と地域との連携強化		50.3%
	保護者・地域・関係諸機関の連携	63.7%		子どもの規範意識や社会性の向上	36.9%
	教員の指導力	58.0%		教員の指導力の向上	35.0%
小学校	子どもの学力や学習意欲	70.0%	学校と地域との連携強化		48.4%
	子どもの規範意識や社会性	62.0%		子どもの学力や学習意欲の向上	43.2%
	子どもの体力や運動能力	59.2%		学校評価の充実と学校改善	36.2%
中学校	子どもの学力や学習意欲	77.6%	キャリア教育の推進		47.7%
	子どもの規範意識や社会性	74.8%		学校と地域との連携強化	46.7%
	教員の共通理解と組織の強化	50.5%		子どもの学力や学習意欲の向上	33.6%
高等学校	子どもの規範意識や社会性	90.5%	子どもの規範意識や社会性の向上		61.9%
	子どもの学力や学習意欲	85.7%		学校評価の充実と学校改善	35.7%
	教員の共通理解と組織の強化	57.1%		教員の指導力の向上	35.7%
特別支援学校	保護者・地域・関係諸機関の連携	90.9%	子どもの安全確保		72.7%
	教員の指導力	90.9%		学校評価の充実と学校改善	45.5%
	子どもの安全確保	81.8%		教員の指導力の向上	45.5%

Ⅵ 職員研修に関すること

○ 授業研究の実施

- 「授業研究を実施している」学校は、幼稚園96.8%、小学校98.1%、中学校80.4%、高等学校90.5%、特別支援学校90.9%。

Ⅶ その他

○ 大学生（短大生・院生を含む）が、教育活動の支援に入る取組を実施している学校の割合

	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
平成21年度	53.5%	69.5%	57.0%	45.2%	54.5%
平成20年度	— (調査なし)	63.6%	55.1%	34.9%	63.6%
平成19年度	— (調査なし)	52.8%	41.1%	20.9%	30.0%